



AKATSUKI JAPAN



再 始 動



OFFICIAL PROGRAM

FIBA
ASIA CUP
2025 QUALIFIERS

FIBA ASIA CUP 2025 QUALIFIERS - WINDOW 1 -

FIBA アジアカップ 2025 予選

2024.2.22 THU 日本代表  VS  グアム代表

2024.2.25 SUN 日本代表  VS  中国代表

会場：有明コロシアム（東京都江東区）



FIBA ASIA CUP 2025 QUALIFIERS

FIBAアジアカップ2025予選 Window 1 TIMETABLE

【2月22日】
日本 vs グアム

15:30頃	場外ブース(代表グッズ) オープン
17:30頃	開場、場内ブース・キッチンカー販売開始
18:25頃	AKATSUKI VENUS® パフォーマンス
18:30頃	選手入場
18:56頃	選手紹介
)	国歌斉唱 グアム
	国歌斉唱 日本
	スターティング5紹介
19:05頃	TIP OFF
HALF TIME	AKATSUKI VENUS® ハーフタイムパフォーマンス キッチンカー販売終了(予定)
20:00頃	場外ブース クローズ
21:00頃	試合終了・場内ブース クローズ ※試合終了後30分は営業

※暴風時は、場外ブースを実施しない場合がございます。
※スケジュールは、都合により一部変更になる可能性があります。

【2月25日】
日本 vs 中国

10:30頃	場外ブース(代表グッズ) オープン
12:30頃	開場、場内ブース・キッチンカー販売開始
13:21頃	AKATSUKI VENUS® パフォーマンス
13:27頃	選手入場
13:53頃	選手紹介
)	国歌斉唱 中国
	国歌斉唱 日本
	スターティング5紹介
14:00頃	TIP OFF
HALF TIME	AKATSUKI VENUS® ハーフタイムパフォーマンス キッチンカー販売終了(予定)
15:00頃	場外ブース クローズ
16:00頃	試合終了・場内ブース クローズ ※試合終了後30分は営業

※暴風時は、場外ブースを実施しない場合がございます。
※スケジュールは、都合により一部変更になる可能性があります。



アジアカップは世界へのトビラを叩く大会



渡邊雄太がホーバスジャパンに初めて合流したのが前回のアジアカップ2022

2月22日、「FIBAアジアカップ2025予選」が各地で一斉にスタートする。この大会はその名のとおり、2025年にサウジアラビアで行われる「FIBAアジアカップ2025(以下アジアカップ)」に出場するチームを決めるための予選大会だ。

予選では24チームを6グループに組分けし、日本は中国、 Guam、モンゴルと同じグループCに入った。ホームとアウェーの両方でWindow1からWindow3までを戦い、各グループの上位2チームにアジアカップの出場権が与えられ、グループ3位の計6チームはプレーオフを行い、合計16チームでアジア・オセアニア地区のNo.1を競う。

忘れてはならないのが、アジアカップ本大会出場チームには、FIBAバスケットボールワールドカップ アジア・オセアニア地区予選への出場権が与えられる点だ。つまりは、2027年にカタールで行われるFIBAバスケットボールワールドカップ2027への戦いはこの段階から始まっており、ひいては2028年にアメリカ・ロサンゼルスでの開催が決まっている「ロサンゼルス2028オリンピック」へと道がつながっているとと言えるだろう。つまりアジアカップは世界へのトビラを叩く大会でもあるのだ。

思い出してほしい。昨夏行われたFIBAバスケットボールワールドカップ2023において、日本はアジアからの出場チーム中、最上位の成績を収め、パ

リ2024オリンピックへの出場権を獲得した。ただ2023年のワールドカップとの大きな違いは、開催国枠で出場権がないこと。2027年のワールドカップに出場するためには厳しい予選を勝ち抜かなければならない。

だからこそ、アジアカップを通して強化を進める必要があるだろう。前回、インドネシアのジャカルタで開催されたアジアカップ2022で日本は予選ラウンド2位でベスト8進出決定戦にコマを進めた。この試合、日本はこの大会で3度目の100点

ゲームとなる102-81で勝利。準々決勝では後に大会を制するオーストラリアに85-99で敗れるものの、トム・ホーバスヘッドコーチ(以下HC)が押し進めてきた3ポイントシュートを軸としたアップテンポのスタイルが浸透していることを実感した大会となった。

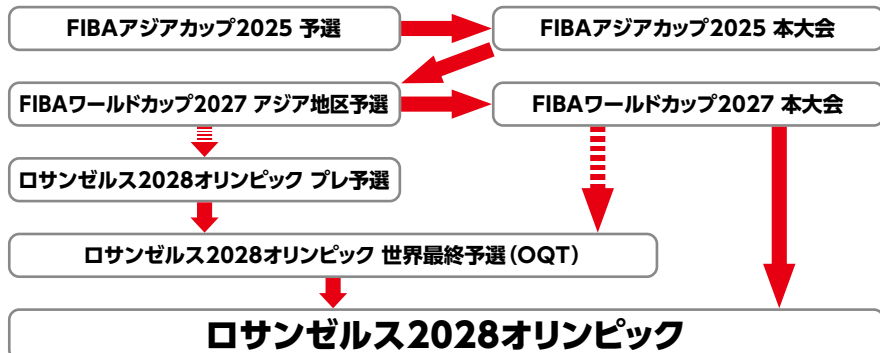
日本が戦った各試合では河村勇輝と富永啓生、吉井裕鷹という翌年のワールドカップで活躍する若手が思い切りのいいプレーで躍動。さらにホーバスHC体制下で初めての代表戦でのプレーとなった渡邊雄太が問題なくホーバスHCのバスケットを体現してみせた。その渡邊はフィリピン戦で負傷したためオーストラリア戦には欠場したが、33得点をマークした富永を中心にオーストラリアに善戦。今振り返れば、ワールドカップでの日本の躍進は、前回のアジア大会で約束されていたのかもしれない。



富永啓生はアジアカップ2022を機に代表の軸に成長した

2028年のロサンゼルスオリンピックに続く道

FIBA公式戦はすべてがオリンピックに繋がっている!



オールバスケットで、 日本を元気に。



バスケットは、ひとの心を動かしつつづける。

ボールと身体が、コートと織りなすリズムに、
共鳴する選手の鼓動。

一人ひとりの個性が生む、多彩なプレーに、
ひき込まれていく観客。

ときには100点をこえる、絶え間ない攻防戦に、
固唾をのむ全国のファン。

バスケットによる心の弾みは、
日本中をつなげて、元気にしていく。
私たちは、このつながりを未来まで支えていきます。

さあ、バスケットをはじめよう。

ALL BASKETBALL
ACTION

Play, Support. さあ、支えることを始めよう。



日本生命

トム・ホーバス

Tom HOVASSE

男子日本代表ヘッドコーチ

AKATSUKI JAPAN再始動 アジアのライバルとの戦いから レベルアップを目指す

2023年夏、日本を熱狂の渦に巻き込んだ

“AKATSUKI JAPAN”男子日本代表チームが再始動する。

今回、グアム、中国との戦いを前に、

トム・ホーバスヘッドコーチにインタビュー。

現在のチームの状況、招集した選手への期待、

そして今大会への狙いを聞いた。

昨夏の「FIBAバスケットボールワールドカップ2023(以下ワールドカップ)」で大躍進を果たし、「パリ2024オリンピック」への出場権を獲得した男子日本代表(26位)が再び動き始める。FIBAワールドカップ以来の集結となった日本は「FIBAアジアカップ2025予選(以下アジアカップ)Window1」で、予選ラウンドのグループCに入ったグアム代表(76位)と中国代表(29位)と対戦する。

ワールドカップの結果によりアジア最上位となった日本だ。このアジアカップ予選も当然、負けるわけにはいかないが、世界の12チームしか出場できないオリンピックへ向けて、限られた対外試合としてこの機会を生かしたいところだ。

パリ2024オリンピックへ向けて本格始動とな

©シーソーゲーム/伊藤大九



ワールドカップのメンバーをベースにチームの底上げを図る

る今回のアジアカップ予選で、日本代表はどのような戦いぶりを見せるのか。ワールドカップでの偉業を牽引したトム・ホーバスヘッドコーチ(以下HC)に話を聞いた。

「日本らしい戦いぶり」をベースに アジャストメントとトライを実行

ワールドカップから約6カ月。激闘の連続から解放された後、大会後は「2カ月ほどは家族と過ごしながらか完全にスイッチを切っていました」と語ったホーバスHCだが、「充電」も済んで再び選手たちと会えることに高揚感を覚えているようだった。

もちろんワールドカップまでと同様、ここからパリ2024オリンピックへ向けての「仕事」が待ち受ける。ワールドカップが32チームであるのに対し、オリンピックの出場国はわずかに12。つまり日本は、より厳しい戦いを強いられることとなる。

だが、ワールドカップで見せた「日本らしい戦いぶり」という根幹に変化はないと指揮官は言う。

「我々のフィロソフィーやスタイルはこれまでと変わりません。すでにワールドカップで何がよくできて、何ができなかったかを分析しています。ですから、今回の試合ではそこからのアジャストメントをするとともに、いくつかのことを試す機会になるでしょう」

事前の合宿には22名の選手を招集した(シーホース三河の西田優大、島根ササノオマジックの安藤誓が不参加、2月16日時点)。「海外組」の渡邊雄太(NBAメンフィス・グリズリーズ)と富永啓生(ネブラスカ大学)は不参加だが、富樫勇樹(千葉ジェッツ)、河村勇輝(横浜ビー・コルセアーズ)、

馬場雄大(長崎ヴェルカ)、ジョシュ・ホーキンソン(サンロッカーズ渋谷)らワールドカップメンバーと、ホーバスHC体制下で代表活動に参加経験のある選手たちが大半となっている。

ホーバスHCは「パリまでの間に『大きな網』を投げて新たな人材を探す余裕はない」とし、チームの大半が同HCのコンセプトを理解している選手たちであると述べたが、一方で「新顔」が皆無なわけではなく、阿部諒(仙台89ERS)と、23年9月に日本国籍を取得したジョシュ・ハレルソン(佐賀バルナーズ)が「新顔」として選抜されている。

ワールドカップではホーキンソンが帰化選手として八面六臂の活躍をし、パリ2024オリンピックへ向けてその枠に収まるのは彼だと大方が見る中でホーバスHCは「どのポジションにも競争が必要ですし、ジョシュ・ハレルソンが我々のスタイルにフィットするかどうかを見たいのです」と、35歳のベテランセンターの招集理由について語っている。

仙台移籍初年度の今シーズン、キャリアハイの成績を収めているシューティングガードの阿部については、Bリーグで1試合平均14.5点(2月11日終了時点)という得点力のみならず、アシスト能力(4.8アシストはB1で6位)の高さに注目したと、同HCは述べる。

「我々のポイントガードたちはどちらかといえば『アシストメーカー』ですが、ここに得点もできてパスもできる選手がいたらどうなるか。その意味で阿部は他の選手たちをつなぐ『コネクター』になれるかどうかを見てみたいです。彼のことは(アシスタントコーチの)佐々(宜央)や(勝久)ジェフリーらが『元気があってハードワーカーで、かつ謙虚な





©シーソーゲーム/伊藤大祐

パリ2024オリンピックの準備も行いながらの戦いになりそうだ

とむ・ほーばす：1967年1月31日生まれ/アメリカ・コロラド州出身/ペンシルベニア州立大学出身/大学卒業後はボルトガルリーグを経て、1990年にトヨタ自動車へ入団。日本リーグで通算5度の得点など活躍し2001年に引退した。2010年、JX-ENEOSサンフワーズのコーチに就くと、2017年には女子日本代表ヘッドコーチに就任。2021年の東京2020オリンピックでは史上初の銀メダル獲得に尽力した。2021年9月に男子日本代表ヘッドコーチ就任。2023年9月、FIBAワールドカップ2023でアジア1位となり、パリ2024オリンピックの出場権獲得に導いた。

選手だ」と非常に評価が高かったというもあります」

パリ2024オリンピックへ向けての最初のステップとして、このアジアカップ予選を良い機会にしたいと言うホーバスHC。ワールドカップでは日本代表として初めてヨーロッパのチームを破り、かつ過去最多の3勝をあげたとはいえ、課題が少なからず残った。オリンピックでの本番ではよりハイレベルな試合ぶりが求められることを考えても、今回のアジアカップ予選は改善へ向けての重要な実践の場となる。

「ワールドカップでの我々の3Pシュートの成功率は31.3%で、その数字は十分とは言えません。またリバウンド（ワールドカップでは全体21位の平均35.0本）は明らかに日本の弱点です。リバウンドに関しては今回の代表活動で力を入れていきたいですし、ジョシュ・ハレルソンや渡邊飛勇は良いリバウンダーなので、彼らがどれだけやれるかを見てみたいです」

パリ2024オリンピックに向けて「いいスタートを切りたい」とホーバスHC

冒頭に記したとおり、日本は22日には Guam と、25日には中国と対戦する。昨年のアジアカップのプレ予選を勝ち抜き、同予選を初めて戦う Guam

はベテランと若手が混在するチームで臨んでくるが、日本からすれば格下の相手だ。しかし、ホーバスHCは「彼らはアメリカ人でフィジカルの強い選手が何人かいるし、良いチャレンジになる」と油断はない。

そして中国は、日本にとって常に難敵だ。ホーバスHCの男子代表デビュー戦となった2021年11月のFIBAワールドカップ2023アジア地区予選 Window1における2連敗（63-79、73-106）をしている相手で、「リベンジしたい」と強い言葉で、雪辱を期す。

「あの連敗は我々目を覚ましてくれるものでした。敗戦から学ぶものは多いですし、実際、我々はあそこから多くの変更を加えるなどをしました。ただ、選手としてもコーチとしても、そういう結果となった相手と再び対戦してリベンジを遂げたいと思うはずなのです。あの時にチームにいた選手もそうでなかった選手も連敗のことは把握しているでしょうから、それをモチベーションにすることも大事です」

東京2020オリンピックで女子代表のHCを担っていた時からホーバスHCは、勝利の確率を高めるべくより効率の良い戦いぶりを求める「アナリティック・バスケットボール」を標榜し、ワールドカップの成果もその効果によるところがあったと言える。

その最も端的な例が2Pシュートの1.5倍の得点となる3Pシュートの試投数で、ワールドカップでは1試合平均で30から40本を打っていくことでより効率よく点を刻んでいくという戦略だった。ワールドカップでの日本の3Pシュート試投数は平均32.6本で、同32.2だった2Pシュートとほぼ同

数。これは大会前から同HCが求めていた五分五分の、理想的な割合だった。

ではここからパリ2024オリンピックへ向かうにあたって「アナリティック・バスケットボール」的にはどのようなものを指標として求めていくかと問うと、ホーバスHCは安易に数字を口にしない。今回のアジアカップ予選について言えば渡邊と富永（ワールドカップでの3Pシュート試投数はそれぞれ平均6.2本、6.4本だった）が不在にならざるを得ない。

「アナリティックスとは決まった目標ではないというか、それはその都度、どのようなチームを構成するかによって変わってきます。まずはどのような人選をし、それを元にどういったアナリティックスを用いれば最も効果的なチームを作ることができるかということなのです」

今回のアジアカップ予選 Window1は2試合とも東京・有明コロシアムで行われ、会場は多くの観客で埋め尽くされることだろう。ホーバスHCは自分たちのスタイルのバスケットボールを展開することでファンたちを「失望させたくないですし、パリへ向けて良いスタートを切りたい」と話す。

アジアカップは4年に1度開催される、同地区の王者を決める大会。日本は2022年にインドネシアのジャカルタで行われた前回大会では準々決勝で最終的には優勝国となったオーストラリアに敗れ、総合7位だった。

今回の Window1 が終わると、今度は今年の11月に Window2 でモンゴルと、そして Guam と2度目の対戦となる予定だ。

※カッコ内はFIBAランキング（2023年9月10日現在）

FIBAアジアカップ2025 予選(グループC) スケジュール

Window1
2024年2月22日
日本vs Guam (東京・有明コロシアム)
中国vs モンゴル国 (西安・Shaanxi Provincial Gymnasium)
2024年2月25日
日本vs 中国 (東京・有明コロシアム)
モンゴル国vs Guam (ウランバートル・UG Arena)
Window2
2024年11月21日
中国vs Guam
日本vs モンゴル国
2024年11月24日
Guam vs 日本
モンゴル国vs 中国
Window3
2025年2月20日
中国vs 日本
Guam vs モンゴル国
2025年2月23日
Guam vs 中国
モンゴル国vs 日本
※対戦カード、左がホーム
ラウンド1 組み合わせ
グループA: タイ、オーストラリア、韓国、インドネシア
グループB: チャイニーズ・タイペイ、香港、フィリピン、ニュージーランド
グループC: 中国、Guam、 日本 、モンゴル国
グループD: イラク、ヨルダン、パレスチナ、サウジアラビア
グループE: イラン、カザフスタン、インド、カタール
グループF: バーレーン、シリア、レバノン、アラブ首長国連邦

須田侑太郎

Yutaro SUDA

サバイバルから到達した最適解 常にフラットな精神状態が 自分の力を一番発揮できる

ワールドカップで列島を熱狂させた日本代表チームが「FIBAアジアカップ2025予選」で再始動。世界舞台に立つためのサバイバルはかけがえのないことだったと須田侑太郎は振り返る。その中でとり着いたのが自身の精神状態。新たな舞台に挑むシューターに話を聞いた。

最大限に自分の力を発揮できるように
常にフラットな精神状態でいたい

—改めて日本代表候補に選ばれた心境を教えてください。

須田 すごくうれしく思いますし、光栄なことです。これまで候補に選んでいただきましたが、新たな気持ちで自分らしく、自分のプレーを出し切れたら。最大限に力を発揮できるように努めたいと思います。

—合宿ではロスターに残る競争が行われますね？

須田 それも、「また始まるな」という感じです。今回招集されたメンバーはトムさん(ホーバースヘッドコーチ)のバスケがわかっていて、少数精鋭での競争は熾烈になるでしょう。昨年のワールドカップまでの合宿が思い出されますが、1日1日でベストを尽くして、楽しむ気持ちを忘れないで、自分らしくできたらいいのかなと思っています。

—その後に結果がついてくると。

©シーソーゲーム/伊藤大丸



すだ・ゆうたろう：1992年1月3日生まれ/190cm・87kg/シューティングガード/北海道出身/東海大学出身/名古屋ダイヤモンドドルフィンズ所属/リンク栃木ブレイクス(現宇都宮ブレイクス)でプロ生活をスタートさせ、琉球ゴールデンキングス、アルバルク東京でプレーした後、2021-22シーズンより名古屋Dに所属、今シーズンはキャプテンを務める。日本代表にはFIBAワールドカップ2023アジア地区予選Window1の中国戦でデビュー。FIBAアジアカップ2022でも日本代表に選出され、予選ラウンドのシリア戦で33得点を挙げる活躍を見せた。3Pシュートを得意とし、激しいディフェンスも持ち味の一つ。



©シーソーゲーム/伊藤大丸

須田 (ロスターに) 選ばれるか選ばれないかということはあくまでも結果、ということを前回学びました。最後の最後でワールドカップには出場できませんでしたが、本当に学ぶものは多かったですし、またこうやって生かせるチャンスをいただけたということはすごく大きいです。自分ではあまり気負うことなく、自分らしくいられたらいいなと思います。

—ちょっと肩の力が抜けたくらいがちょうどいい？

須田 メンタル的にそうですね。ワールドカップの前はあえて自分を追い込んでいく方向に振り切りました。それはそれでいい経験になりましたが、そういう状況でもフラットな精神状態でいられるように、いい意味で力を抜きたいですね。2年前の代表活動の時はそのような精神状態にいられて、それが良い結果に結びついたので、そのイメージを忘れないようにしたいです。最大限に力が発揮できる精神状態、どういう状況であれ、そういう気持ちでプレーできたらと思います。

—ただ自分らしさを出さなければいけないと思います。

須田 もちろん、そこに対しては真摯に向き合う姿勢は変わらずにやっていきます。ライバルは多いのですが、それでも自分らしくいられたらいいなと思います。1つのシュートを評価されるこの環境の中で、平常心でいるのはすごく難しいことだと前回学んだので、そういう時こそいつもどおりだと思います。

日本の現状を把握するために
ライバル中国は最適な対戦相手

—意識しているプレーはありますか？

須田 代表チームだろうと自チームだろうと、自分がやることは特に変わらなくて、キャッチ&シュートを決め切る、本当にこれに尽きるとしています。シンプルなのですが、ただあまりそれに囚われすぎてしまうと、良くない結果になるのはこれまでの経験上わかっていて。コンディションを含めていい精神状態で、自分の力を最大限に発揮できれば、結果はついてくると思っています。ただでさえ、一つのことにフォーカスしがちな性格なので、フラットな精神状態のほうががちょうどいいのかな、ですね。

—今回対戦する中国とは須田選手もプレーした経験があります。

須田 もちろん、手強い相手だと思います。特にワールドカップでアジア1位の座を奪還できなかったため、モチベーションも高いでしょう。高さがあり、フィジカルなバスケットをする中国に対して、日本は自分たちの武器であるスピードを生かし、フルコートで40分プレーを続ける必要があると思います。ただ、強い中国と対戦することで、日本の今の状況がわかる部分も多いと思うので、しっかりと戦う必要があります。

—ワールドカップ後、初の日本代表公式戦です。楽しみにしているファンにメッセージをお願いします。

須田 大会後は男子代表だけでなく、日本のバスケット界全体が注目を集めるようになりました。今回対戦するグアムも中国も強敵であり、難しい試合になると思いますが、新たなメンバーも含めて日本らしいバスケットを、ワールドカップの時から少しでもアップグレードした内容を見ていただけるように頑張ります。皆さんが見て、楽しい試合をお届けします。

河村勇輝

Yuki KAWAMURA

再び世界の大舞台へ パリオリンピックにつながる 貴重なアジア2連戦

ワールドカップで列島を熱狂させた日本代表チームが「FIBAアジアカップ2025予選」で再始動。世界の舞台で存在感を示した河村勇輝は、さらなる高みを見据えて日々プレーしている。オリンピックイヤーの貴重な国内2連戦の前に、日本代表チームの主軸を担う若き司令塔に話を聞いた。

存在感を示したワールドカップは自身の現在地も見えた貴重な経験

— 昨夏のワールドカップ以来の日本代表活動となります。世界での経験はどのようなものになったでしょうか？

河村 ワールドカップで世界基準のスタンダードを知ることができて、もっと自分がやらなければいけないことが明確になりましたし、どこを強みにしていくかということも認識できた大会でした。今後に向けて本当に素晴らしい経験になったと思います。

— NBAプレーヤーとのマッチアップもありました。

河村 NBAでスピードを武器にしている選手が相手でも、スピードの部分に関しては全然自分も負けていないと感じましたが、その生かし方には差があると思いました。緩急もそうですし、スピードの使い方、ゲームコントロールをする中でボールプッシュの判断、そこはさすがになったと思います。

©シーソーゲーム/伊藤大允



かわむら・ゆうき：2001年5月2日生まれ/172cm・72kg/ポイントガード/山口県出身/東海大学出身/横浜ビー・コルセアーズ所属/福岡第一高校3年時に特別指定選手としてBリーグデビュー。2022年に名門・東海大学を中退して、横浜BCとプロ契約を締結した。昨季はBリーグ史上初となるMVPと新人王の同時受賞など個人6冠。昨夏のワールドカップでも鋭いドライブと得点能力を発揮し、チーム最年少ながら日本代表の五輪出場権獲得に貢献した。



©シーソーゲーム/伊藤大允

ます。

— 今シーズンは得点面などで向上が見られます。世界での経験が生きている部分はあるのでしょうか？

河村 生きている部分はあると思いますね。スピードの部分だけではなく、シュートのバリエーションを増やすことが、常に相手にプレッシャーをかけていくことにつながります。3Pシュートが入らなかった時にミドルジャンパーを打てる選択肢を常に持っておくことだったり、フローターを打てるようになることだったり。スピード以外のオフェンスでの成長は必要不可欠かなと思っています。

— 今回の活動では何をアピールしたいですか？

河村 12人しかロスターに入れないので、それぞれの色を出さないといけないと思います。若さを生かしたアグレッシブなプレーや、クイックネスを生かしたプレーというのは他の選手に負けたくないという気持ちがありますし、そこがトムさん(ホープスヘッドコーチ)のバスケの基盤になってくると思うので、自分の強みを最大限アピールできればいいかなと思っています。

期待に応えるのが日本代表の使命 再びファンを魅了する2連戦に

— 初戦に対戦する Guam 代表のイメージはありますか？

河村 体が大きくて身体能力も高い選手が揃っていると聞いています。簡単な試合にはならないと思いますし、パリオリンピックの前に、そういった身体能力もあってサイズのある選手たちと戦える

のはいい機会になるかなと思っています。

— 2戦目の中国代表も河村選手にとっては初対戦となります。

河村 本当にタフなチームだと思います。サイズがありながら、ポイントガードにも素晴らしい選手がたくさんいて、強みを生かしながらプレーしてくると思っています。僕たち日本が他の国に比べて劣るサイズの部分をしっかりと突いてくるクレバーさを持ったチームかなと思いますね。

— 2試合とも早々にチケットは完売。ファンの期待が膨らんでいます。

河村 昨年のワールドカップを通して、これまでバスケのファンじゃなかった方々が、男子日本代表はいいプレーをする、と感じていらっしゃると思います。対戦相手にかかわらず、いい結果を残すことを期待していると思いますし、僕たちには勝たないといけないという使命があると思います。ファンの方々に日本のバスケは強いんだな、面白いバスケをするんだな、と思ってもらえるような2試合になればいいかなと思っています。

— 最後に日本代表を応援するファンにメッセージをお願いします。

河村 昨年のワールドカップでは、皆さんの熱い応援や盛り上がり僕たちの背中を押して、オリンピック出場権獲得につながったと思います。今回も日本国内でアジアカップ予選があるので、ぜひ皆さんには熱い応援をしていただきたいと思いますし、また皆さんの期待に応えられるような勝利をお届けできればいいかなと思います。今後とも応援のほどよろしくをお願いします。

小2から
バスケット
やってみたい。
頑張らず

ポジションはガード。

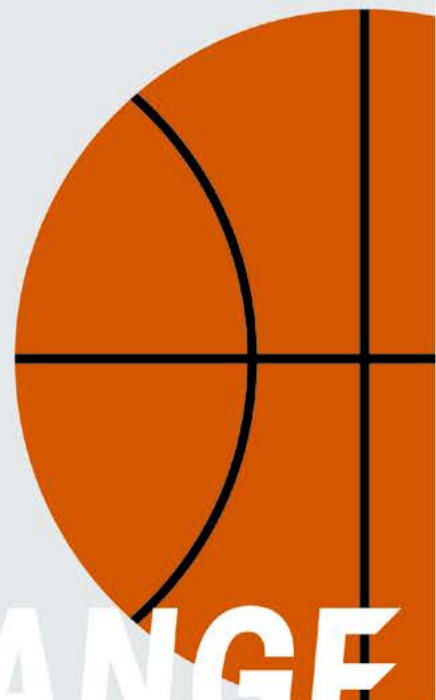
この仕事を
していなかったら、
まだどこかで
バスケットをしていたかも。

バスケットに
教えてもらったことは
いっぱい。
全力で応援
したいと思います。



三井不動産
MITSUI FUDOSAN

TEAM JAPANゴールド街づくりパートナー



BE THE CHANGE

JAPAN

日本代表 (AKATSUKI JAPAN)

FIBAランキング
(全体/アジア・オセアニア内)
※2023年9月10日現在

26位/3位

PG
2

CAP



富樫 勇樹 (Yuki TOGASHI)

生年月日: 1993年7月30日
身長: 167cm
所属: 千葉ジェッツ

PG
5



河村 勇輝 (Yuki KAWAMURA)

生年月日: 2001年5月2日
身長: 172cm
所属: 横浜ビー・コルセアーズ

SG
6



比江島 慎 (Makoto HIEJIMA)

生年月日: 1990年8月11日
身長: 191cm
所属: 宇都宮ブレックス

PG
7



テーブス 海 (Kai TOEWS)

生年月日: 1998年9月17日
身長: 188cm
所属: アルバルク東京

SG
10



今村 佳太 (Keita IMAMURA)

生年月日: 1996年1月25日
身長: 191cm
所属: 琉球ゴールデンキングス

SF
13



金近 廉 (Ren KANECHIKA)

生年月日: 2003年3月11日
身長: 196cm
所属: 千葉ジェッツ

SG
17



須田 侑太郎 (Yutaro SUDA)

生年月日: 1992年1月3日
身長: 190cm
所属: 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ

SF
18



馬場 雄大 (Yudai BABA)

生年月日: 1995年11月7日
身長: 195cm
所属: 長崎ヴェルカ

C/PF
24



ジョシュ・ホークンソン (Josh HAWKINSON)

生年月日: 1995年6月23日
身長: 208cm
所属: サンロッカーズ渋谷

PF
25



川島 悠翔 (Yuta KAWASHIMA)

生年月日: 2005年5月27日
身長: 200cm
所属: NBAグローバルアカデミー

G
34



渡邊 飛勇 (Hugh WATANABE)

生年月日: 1998年12月23日
身長: 207cm
所属: 琉球ゴールデンキングス

G
55



ジョシュ・ハレルソン (Josh HARRELSON)

生年月日: 1989年2月12日
身長: 208cm
所属: 佐賀バルーンズ

PF
75



井上 宗一郎 (Soichiro INOUE)

生年月日: 1999年5月7日
身長: 201cm
所属: 越谷アルファーズ

SF
91



吉井 裕鷹 (Hirotaaka YOSHII)

生年月日: 1998年6月4日
身長: 196cm
所属: アルバルク東京

G
99



川真田 紘也 (Koya KAWASHIMA)

生年月日: 1998年6月16日
身長: 204cm
所属: 滋賀レイクス

STAFF



HEAD COACH

トム・ホバス (Tom HOVASSE)

公益財団法人日本バスケットボール協会

チームリーダー

東野 智弥 (Tomoya HIGASHINO)

公益財団法人日本バスケットボール協会

アソシエイトヘッドコーチ

コーリー・ゲインズ (Corey GAINES)

公益財団法人日本バスケットボール協会

アシスタントコーチ

勝久 ジェフリー (Geoffrey KATSUHISA)

川崎アレイブサンダース

アシスタントコーチ

佐々 宜央 (Norio SASSA)

宇都宮ブレックス

スポーツパフォーマンスコーチ

佐藤 晃一 (Koichi SATO)

公益財団法人日本バスケットボール協会

スポーツパフォーマンスコーチ

緒方 博紀 (Hiroki OGATA)

公益財団法人日本バスケットボール協会

アスレチックトレーナー

一柳 武男 (Takeo ICHIYANAGI)

公益財団法人日本バスケットボール協会

アシスタントアスレチックトレーナー

古澤 美香 (Mika FURUSAWA)

公益財団法人日本バスケットボール協会

ドクター

金 勝乾 (KIM Sung Gon)

順天堂大学附属練馬病院

テクニカルスタッフ

富山 晋司 (Shinji TOMIYAMA)

公益財団法人日本バスケットボール協会

チームマネージャー

西村 拓也 (Takuya NISHIMURA)

公益財団法人日本バスケットボール協会

アシスタントチームマネージャー

大木 瀬音 (Seoto OKI)

公益財団法人日本バスケットボール協会

C
1



Curtis WASHINGTON

生年月日: 1991年12月5日
身長: 210cm

SF
3



Mark JOHNSON

生年月日: 1992年10月19日
身長: 198cm

PG
4



Tomas CALVO

生年月日: 2000年5月25日
身長: 180cm

C
5



Jonathan GALLOWAY

生年月日: 1996年6月19日
身長: 210cm

SG
12



Joseph BLAS

生年月日: 1988年10月30日
身長: 190cm

PG
22



Daren HECHANOVA

生年月日: 1993年7月18日
身長: 195cm

SG
23



Reo AIKEN

生年月日: 2001年12月27日
身長: 188cm

PF
24



Ben BORJA

生年月日: 1998年2月26日
身長: 205cm

SG
30



Takumi SIMON

生年月日: 2000年3月10日
身長: 190cm

SG
31



Jericho CRUZ

生年月日: 1990年10月11日
身長: 188cm

SF
33



Earnest ROSS

生年月日: 1991年1月27日
身長: 198cm

PF
42

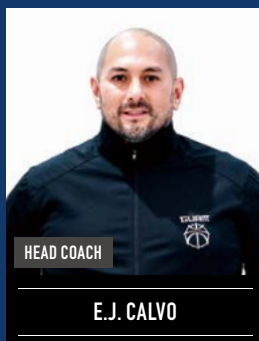
CAP



Tai WESLEY

生年月日: 1986年5月13日
身長: 205cm

STAFF



HEAD COACH

E.J. CALVO

Secretary General
Frank CRUZ

Director
John T. CALVO

Assistant Coach
Jine HAN

Assistant Coach
Chris FERNANDEZ

Assistant Coach
Mekeli WESLEY

Media Manager / Photographer
Isaiah SABLAN

Team Doctor
Christian EUSEBIO

SF
2



Ruize WANG

生年月日: 1995年6月27日
身長: 197cm

SG
3



Mingxuan HU

生年月日: 1998年3月10日
身長: 193cm

PG
4

CAP



Jiwei ZHAO

生年月日: 1995年8月25日
身長: 185cm

PG
5



Sanning LIAO

生年月日: 2001年1月29日
身長: 192cm

SG
6



Shuaipeng CHENG

生年月日: 1999年6月3日
身長: 191cm

PF
14



Hao FU

生年月日: 1997年9月24日
身長: 208cm

C
16



Jiahao YU

生年月日: 2003年3月18日
身長: 221cm

PF
18



Runwang DU

生年月日: 1999年8月25日
身長: 206cm

SG
19



Yongxi CUI

生年月日: 2003年5月28日
身長: 201cm

C
20



Hansen YANG

生年月日: 2005年6月26日
身長: 218cm

C
21



Jingju HU

生年月日: 1997年9月24日
身長: 210cm

PF
23



Abudurexiti ABUDUSHALAMU

生年月日: 1996年5月20日
身長: 203cm

SF
26



Junlong ZHU

生年月日: 1999年7月13日
身長: 201cm

G
30



Jie XU

生年月日: 2000年1月16日
身長: 183cm

STAFF



HEAD COACH

Aleksandar DJORDJEVIC

President
Ming YAO

Assistant Coach
Goran BJEDOV

Assistant Coach
Shiqiang GUO

Assistant Coach
Wei LIU

Strength & Condition Coach
Mladen MIHAJLOVIC

Interpreter
Xiang CHENG

Team Manager
Jiachen ZHENG

Team Doctor
Hongjun JIANG

Team Doctor
Yanjun ZHU

Physio
Kongyu ZHU

Video Analyst
Yuanzhe YAN

Video Analyst
Jiheng XU



AKATSUKI JAPAN plus⁺

バスケットボール日本代表 公式 FUN サイト

新規入会受付中!!

入会はこちら



AKATSUKI JAPAN plus⁺は代表とあなたを「繋ぐ」ファンクラブ AKATSUKI JAPAN plus⁺に入会すると!



チケット

AKATSUKI JAPANの国内全試合や
JBA主催試合^{*}のチケットをどこよりも
早く購入できる!

※一部対象外の試合がございます。



会員限定コンテンツ

毎月更新のAKATSUKI JAPAN 男女のカレンダー、限定コ
ラム、また AKATSUKI JAPANになりきり、ブロックショット
を次々と決めゴールを守るオリジナルゲーム「Block it Out!」
などここでしか得られない会員限定コンテンツを配信!



AKATSUKI JAPAN plus⁺ご入会方法

月額440円(税込)でご利用いただける公式FUNサイトです。URLもしくはQRコードにアクセスしてください。

※3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月払いもご利用いただけます。※携帯電話など一部端末には対応しておりません。

<http://akatsukjapanplus.jp>

[アカツキジャパンプラス](#)



有料会員 / 無料会員の方へ

メルマガでバスケットボール日本代表のお得な情報をGET!! 今すぐ登録しよう!

(QRコードを読み込んでログインしてください)



メルマガ登録はこちら

